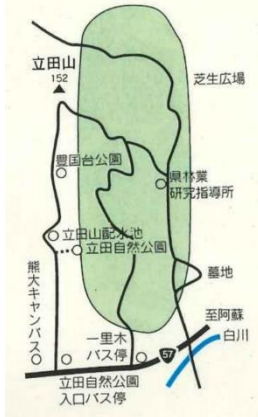


①

たつだやま
立田山

[所在地] 熊本市黒髪町8丁目
[広さ] 205ha
[主な施設] 遊歩道、芝生広場、東屋、トイレ、水飲み場
[周辺のみどころ] 泰勝寺跡、リデルライト両女史記念館
[交通] 交通センターから、九州産交バス光の森産交行き、立田自然公園入口下車、徒歩20分



山頂までわずか20分。天然記念物のヤエクチナシも自生

熊本市の近郊、熊本大学の背後にある立田山は、市民の手軽なハイキングコースになっています。登山道はいくつもあり、山頂までわずか20分ほど。

国の天然記念物のヤエクチナシの自生地として知られ、植物や昆虫、野鳥が数多く生息しています。立田山の周辺には史跡が多く、縄文・弥生時代の遺跡のほか豊国廟跡があります。ふもとの泰勝寺跡(立田自然公園)には細川家歴代の墓が並び、多くの観光客が訪れます。

旧制五高(現熊本大学)に学んだ寺田寅彦は「食後独り立田山に登る。処々くちなしの花香へり」と日記に書いているように、古くから多くの人に愛されています。



②

きんぼうざん
金峰山

[所在地] 熊本市河内町岳
[広さ] 66ha
[主な施設] 遊歩道、駐車場、トイレ
[周辺のみどころ] 島田美術館
[交通] 交通センターから九州産交バスで河内温泉センター行き峠の茶屋下車、徒歩2時間30分。熊本市街から車で30分



漱石ゆかりの峠の茶屋を通り、急坂のサルスベリに挑戦

熊本市民にとって、東の阿蘇に匹敵するのが、西の金峰山。熊本の市街地から近く、市民の憩いの森として親しまれています。遊歩道、駐車場等が整備されているため、徒歩でも自動車でも登れて、気軽に散策が楽しめる森林です。

登山道はいろいろありますが、最も多く利用されている道は、島崎から鎌研坂、峠の茶屋、大将陣を経て登るコース。峠の茶屋は、夏目漱石の「草枕」で有名な茶屋です。金峰山には、100年を超すスギ、ヒノキが林立し、野鳥の宝庫としても知られています。山頂付近には、サルスベリという急坂があり、名所になっています。頂上からの眺めもすばらしく、雲仙や天草が一望できます。



③

お 小 萩

[所在地] 熊本市貢町小萩
[広さ] 20ha
[主な施設] 自然観察林、森林学習館、キャンプ場、遊歩道
[周辺のみどころ] 天福寺、成道寺、本妙寺
[交通] 交通センターから、九州産交バス芳野經由河内行き、馬水下車、徒歩約1時間。熊本市街から車で20分



森林学習館や収穫の森、キャンプ場もある市民の憩いの森

小萩は、金峰山とともに熊本市民の憩いの森林として親しまれています。中央のくまもと自然休養林には、芝生広場、桜園、ツツジ園、昆虫の森、どんぐりの森しいたけの森、山菜の森をはじめ、常緑樹が繁る自然観察林があり、森林の豊かさを体験できます。

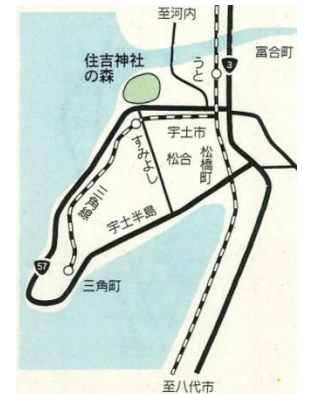
その一角にある森林学習館では、森林や林業についての資料やパネルが展示され、森林について学ぶことができます。竹細工や木工の工作指導も行われ、子ども達に好評です。四季折々に、バードウォッチングやスケッチ、親子自然観察会に利用されており、夏はキャンプも楽しめます。



④ すみよしじんじや

住吉神社の森

[所在地] 宇土市住吉町
[広さ] 3ha
[主な施設] 駐車場、東屋、トイレ、遊歩道
[周辺のみどころ] 轟水源、御興来海岸
[交通] 熊本駅からJR三角線住吉駅下車後徒歩(所要時間35分)、熊本市から車で40分



6月には紫陽花マンドリンコンサートを開催、照葉樹に囲まれた花の名所

宇土半島の北側に位置する住吉神社は昔から海の男たちの守り神として信仰を集めてきました。

海岸線を走る国道57号線やJR三角線の車窓から海の方へつきだした可愛らしい森が見えます。それが“住吉神社の森”です。林内には、タブ、カシ、シイ、クス、ツバキなどの照葉樹が多く、中には、樹齢200年を越える大木もあります。

また、森の周囲には約2000本のアジサイが植えられ、6月ともなれば大勢の花見客で賑わいます。毎年6月中旬の日曜日には花と音のイベント「紫陽花マンドリンコンサート」が開催されます。

ここは県および市の公園として整備されています。



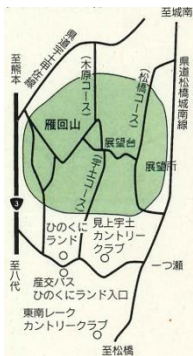


為朝の強弓を怖れた雁がさけて通った雁回山

熊本平野の南部に隣接する雁回山自然公園は、自然豊かな森林です。熊本市近郊にありながら、これだけ手が加わっていない森林も珍しく、このため昭和47年に「県民憩いの森」に指定され、遊歩道も整備されました。登山ルートは各方面からありますが、六殿宮から二の滝～三の滝～第一展望台～一の滝～木原不動奥の院を巡るコースの人気が高いようです。

展望所からの眺望は360度の大パノラマ。元旦には初日の出見物でもにぎわいます。雁回山の名前の由来は、この山に城を構えていた源為朝の強弓を怖れて雁が迂回したという故事によるものです。

[所在] 熊本市、宇土市、宇城市
[広さ] 約800ha
[主な施設] 遊歩道、展望所、東屋
[周辺のみどころ] 木原不動尊、六殿宮
[交通] JR鹿児島本線宇土駅から車で10～20分、熊本市内から車で30～40分(国道経由)



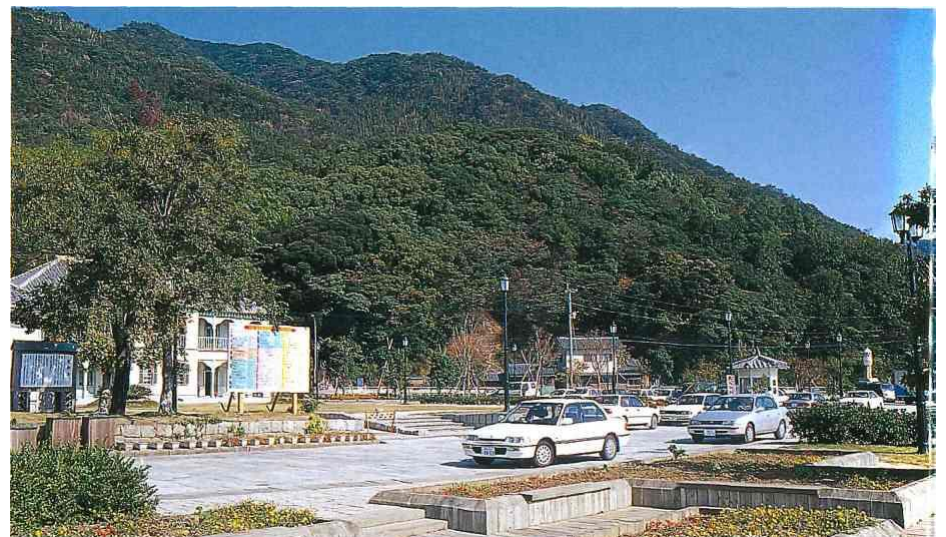
三角西港のそば、三角岳のふもとにある広葉樹の森林

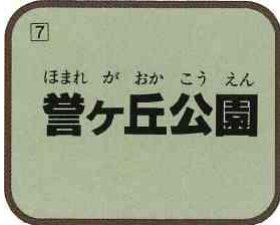
天草の玄関口にあたる三角西港は、明治20年にオランダ人技師ムルドルによって築かれた港です。石積の埠頭ぞいにムルドルハウスや龍醸館などの洋館群があり、レトロな雰囲気醸し出しています。

その三角西港の背後に迫る三角岳の麓に、“三角西港の森”はあります。アラカシ、クロキ、ヤマモモといった常緑の広葉樹が多く、美しい林相を見せています。ヤマハゼ、コナラ等の落葉広葉樹も自生しており、秋の紅葉も鮮やかです。

駐車場や遊歩道なども整備されているので気軽に散策が楽しめ、東屋造りの展望所からは、西港や天草の島々が見渡せます。

[所在地] 宇城市三角町三角浦
[広さ] 12ha
[主な施設] 駐車場、遊歩道
[周辺のみどころ] 三角港、鳥馳島
[交通] JR三角駅から熊本方面へ車で10分



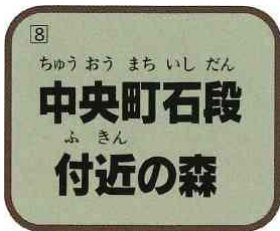


自然に囲まれてアウトドアレジャーを堪能

豊野村の西部、豊野少年自然の家の近くにある緑いっぱいの菅ヶ丘公園。林の多くはシイ、カシなどですが、スギ、ヒノキの林を一部含んでいます。公園内には野鳥が多く棲息しており、散策中には鳥のさえずりも聞かれます。サクラやツツジも植栽され、花どきには鮮やかに園内を彩ります。

また、県下で最も大きな萩尾大溜池を中心に遊歩道が整備されています。道標や説明板も設置されており、楽しみながら知識が深められるのでピクニックや自然散策にはもってこいです。萩尾大溜池では、コイやフナ、ウナギ、ブラックバスなどの釣りも楽しめます。

[所在] 宇城市豊野町山崎
[広さ] 18ha
[主な施設] 公園(菅ヶ丘公園)、歩道、ベンチ、トイレ、給水施設、説明板、シンボルタワー、道標
[周辺のみどころ] 萩尾大溜池
[交通] 熊本市から車で40分程度

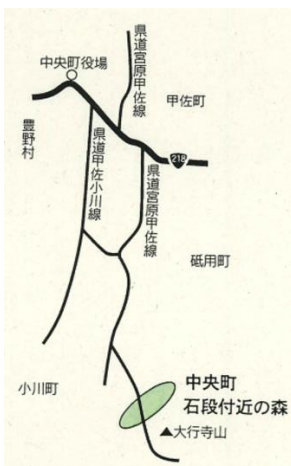


スギ、ヒノキの森の中をホップ・ステップ・3333段

泉村の釈迦院は、信仰すると長わすらいしないといわれ、別名「ぼっくり寺」。標高980mの釈迦院岳の頂上にあり、延暦18年(799年)に開かれた由緒ある古寺です。中央町から釈迦院へは、日本一の石段が続き、その数は、なんと3333段。世界各地から石材を集め、御影石なども使って造られた石段は、ユニークな観光スポットとして人気です。

中央町石段付近の森は、25～35年のスギ、ヒノキなどの人工林と、雑木の天然林からなり、釈迦院川の源流地あたりまで広がっています。石段を登り切るには約1時間。汗をかきながら、日本一の石段にチャレンジしてみてもは。きっとご利益があるはず。

[所在地] 下益城郡美里町坂本
[広さ] 約10ha
[主な施設] 日本一の石段、林間散策道(舗装)、東屋
[交通] 熊本市から車で40分程度



9

みどりかわ 湖畔の森林

[所在地] 下益城郡美里町畝野
[広さ] 3ha
[主な施設] 遊歩道、案内板、ベンチ、駐車場、キャンプ場、展望台
[周辺のみどころ] 緑川ダム
[交通] 交通センターから熊本バス 砥用経由浜町行、家族旅行村西入口下車、徒歩10分



静かな湖畔でボート遊び、釣り、サイクリングを楽しめる

九州五大湖の一つ、美里町にある緑川湖畔の森林は、緑川ダムを見下ろすロケーションにあります。上流から緑川ダムを眺めながらの自然散策は格別で、遊歩道も整備されています。秋には美しく色づいた木々が目を楽しませてくれます。

この森林は家族旅行村「砥用」の指定を受けており、広大な敷地内にはキャンプ場をはじめ、サイクリングロードコース、運動公園などのレクリエーション施設が充実しています。湖でも、カヌーやヨットが楽しめるほか、ワカサギ釣りなどができ、山と湖と清流、それぞれの遊びが満喫できます。



10

ともちまち こうさ だけ 砥用町甲佐岳 の森

[所在地] 下益城郡美里町甲佐平
[広さ] 50ha
[主な施設] 駐車場、遊歩道
[周辺のみどころ] 霊台橋、風神鍾乳洞
[交通] 熊本市から車で50分



春の新緑と秋の紅葉がすばらしい、中腹には平安時代の古寺も

美里町の北部に位置する「砥用町甲佐岳の森」林内には、スギ、ヒノキの針葉樹とカシ、モミジ、クヌギ、ハゼ等の広葉樹、照葉樹が混生しています。そのため、春の新緑、秋の紅葉はあざやかで、たいへん素晴らしい景観と評判です。

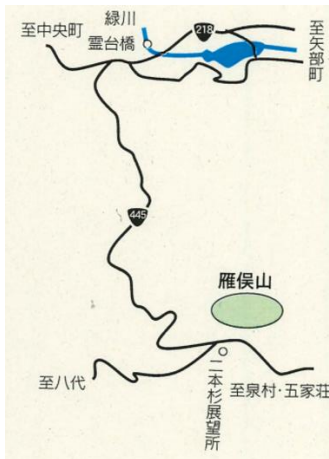
甲佐岳中腹には平安時代に開かれた古刹・福城寺があり、国指定重要文化財の木造釈迦如来立像が安置されています。

また、福城寺には麓の県道321号から車道が通じており、甲佐岳登山の登り口にもなっています。頂上までは急坂の連続ですが約1時間程度。駐車場や遊歩道も整備されており、年間を通して登山客で賑わいます。毎年3月の第1日曜日には、日本一早い山開きが行われます。





[所在地] 下益城郡美里町
[広さ] 70ha
[主な施設] 展望所
[周辺のみどころ] 霊台橋
[交通] 熊本から車で約1時間20分、砥用から車で約30分



五家荘への表玄関です

五家荘の表玄関として知られる二本杉峠がある雁俣山。北西側の緑川流域から見ると、美しい双頭峰が際立っています。かつて、二本杉峠までは、生活物資や山の幸を背負った人馬がやっと通れるほどの山道しかなかったのですが、現在は国道445号が通っています。

二本杉峠の茶屋横からは、雁俣山までの登山道が整備されており、ハイキングにはぴったり。頂上まではゆっくり登って1時間。頂上からの展望も抜群です。峠の手前には展望所があり、熊本平野を望むことができます。また、峠のすぐ下には名前の由来となった杉の大木が二本立っていましたが、現在では1本だけが残っています。



[所在地] 玉名市、荒尾市、南関町
[広さ] 45ha
[主な施設] ビジターセンター、展望所、遊歩道、キャンプ場、炊飯所、トイレ
[周辺のみどころ] 小代焼窯元、三井グリーンランド
[交通] 交通センターから、産交バスで荒尾行き、府本下車、徒歩50分。熊本市から車で1時間10分



家族連れの高キングにぴったり、広葉樹の繁るなだらかな山

玉名市の北方に位置する小岱山は、筒が岳(海拔501m)と観音岳(473m)の二峰の総称です。高さに比べて裾野の広がりが大きく、玉名市、荒尾市、南関町にまたがっています。

小岱山県立自然公園の指定を受け、九州自然歩道も整備。なだらかな山なので、家族連れやちょっと一汗かきたい人におすすめのハイキングコースです。小岱山には、シイ・ナラ・コナラ・アラカシなどの広葉樹が多く繁っています。

ふもとは、古代の製鉄跡群や小代焼の窯元など、ちょっと寄り道したいポイントもいっぱいあります。



13 ひ たけ じょう あと
**日嶽城跡
の森**

[所在地] 玉名市岱明町開田
[広さ] 0.26ha
[主な施設] 駐車場、遊歩道、ベンチ
[周辺のみどころ] ホタルの里自然公園
[交通] 熊本市から車で約1時間、JR玉名駅から徒歩約1時間



シイヤカシの茂る城跡の森で中世の歴史をしのぶ

玉名市と荒尾市にはさまれた、岱明町の北部に、日嶽城跡の森があります。シイ、カシなどが生い茂る林内には、遊歩道が整備され、森林浴をしながら、散策やハイキングが楽しめます。

頂上には、中世に栄えた日嶽城跡があり、ここから見下ろす有明海の風景は、四季折々に魅力的です。近くに、浮田池やホタルの里自然公園があります。



14 く しげ
**南関町久重
南区有林**
みなみ く ゆうりん

[所在地] 玉名郡南関町久重
[広さ] 8ha
[主な施設] 遊歩道、山上広場、休憩所、ベンチ、テーブル
[周辺のみどころ] 古小代の里、ふるさとセンター
[交通] 南関町関町から車で20～30分



三池山の八合目から県下最大規模のクスの純林が広がる

三池山(388m)はその名の通り、大牟田のシンボリックな山ですが、大牟田市と南関町にまたがっており、東半分はれっきとした熊本県の山です。

八合目から頂上一帯にかけては、クスの純林が広がり、県下最大の規模を誇っています。林道が整備され、気楽に森林浴ができるようになりました。

山頂の木立ちの中には、三池白龍神の額を掲げた木製の鳥居とともに三池宮があります。山頂の池は、三池伝説の池。その昔、姫をのみこもうとした大蛇から、姫を救ったというカニの伝説が残っています。山頂から、島原半島や雲仙岳、阿蘇が眺望できます。





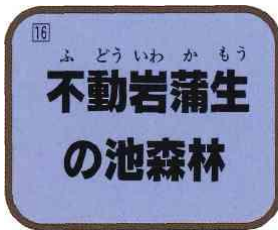
[所在] 玉名郡南関町大字関東
[広さ] 15ha
[主な施設] 遊歩道、案内板、駐車場
[周辺のみどころ] 大津山神社、健康とゆとりの森
[交通] 九州自動車道南関ICから車で5分



カシヤヤマモモの繁る森でバードウォッチングを楽しむ

九州自動車道・南関ICのすぐそばにある大津山自然公園には、スギ、ヒノキの人工林のほかにカシヤシイ、ヤマモモなどが自生しています。この一帯は鳥獣保護区に指定されているため、野鳥の数が多く、バードウォッチングが楽しめます。

頂上には、室町時代に大津山氏の居城としてつくられた萬嶽城跡があり歴史の重みを感じられます。ふもとの大津山阿蘇神社は、目の神様として信仰を集め、境内には「生目水」という清水が湧き出しています。御神詠を三回唱えて目を洗うと、眼病に効果があるとか。大津山の新緑に豪壮な社殿が映えます。



[所在地] 山鹿市蒲生
[広さ] 156ha
[主な施設] 遊歩道、東屋、駐車場、多目的グラウンド、芝生公園
[周辺のみどころ] 一本松公園
[交通] 山鹿から産交バス来民経田熊本行き鹿本高校前下車、徒歩25分。熊本市から、車で約1時間



天にそそり立つ不動岩から、江戸時代の人工溜池へのコース

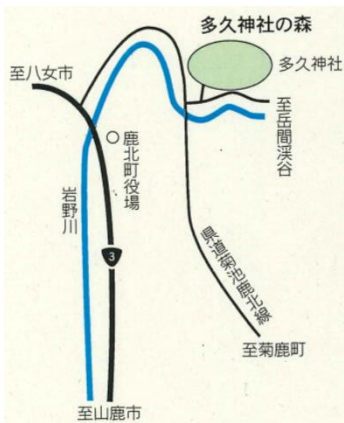
山鹿市の北東の山の斜面にそそり立つ不動岩は、第三紀層の凝礫岩です。その昔、山伏たちがこの山中にこもり、不動明王を本尊として修行したことから、不動岩の名がついたとか。

この山を舞台とした伝説も残り、北にある彦岳と綱引きをして不動岩が負けたので今の奇岩の様相となり、その時、流れ出た血がこの一帯を赤土にしたといわれています。不動岩から、江戸時代につくられた人工の溜め池である蒲生の池を含む一帯は自然林で覆われ、みかん園も続いています。このあたりは、九州自然歩道のコースになっています。



17
た く じん じゃ
**多久神社
の森**

[所在] 山鹿市鹿北町多久
[広さ] 約2ha
[周辺のみどころ] 岳間溪谷、瞑想の森公園
[交通] 西鉄山鹿営業所から西鉄バス岳間行き、田中下車、徒歩10分。



樹齢500年の老スギや老ヒノキが繁る、鹿北随一の神域

多久神社は、岳間溪谷を流れる岩野川と県道菊池鹿北線の交差する地点のそばにあります。多久阿蘇神社とか四ノ宮大明神と呼ばれ、古くからこの地方の信仰を集めてきた、由緒ある神社です。

その参道には、樹齢500年の老スギや老ヒノキがあり、神殿や神門の周囲にも天を突くような大木があります。ほかにも大正天皇即位記念のスギなどがあり、厳粛な雰囲気にも包まれた境内は、鹿北随一の神域になっています。



18
た け ま け い こ く
岳間溪谷

[所在地] 山鹿市鹿北町多久
[広さ] 15ha
[主な施設] 駐車場、キャンプ場、ロッジ
[周辺のみどころ] 瞑想の森公園
[交通] 西鉄山鹿営業所から西鉄バス竹間由紀行き終点下車。徒歩30分。熊本市から車で1時間40分



ダイナミックな大小の滝が流れ落ちる夏の別天地

夏のオアシスとして人気が高い、岳間溪谷。福岡・大分の県境にそびえる国見山に源がある岩野川は、標高500m 近くの岳間溪谷で、美しい景観を見せています。しぶきをあげて流れ落ちる金原の滝をはじめ、カップの寝床や人面石と名づけられた岩が多く点在。夏には、涼を求めて福岡など県外からもたくさんの方が訪れます。溪流でスイカやジュースを冷やし、岸辺でバーベキューをしたり、子ども達は溪谷で水遊びを楽しみます。近くにロッジやキャンプ場も整備され、アウトドアライフも体験できます。

溪谷一帯は、春のツツジ、シャクナゲ、夏の新緑、秋の紅葉、冬の樹氷など四季折々の自然の美しさに魅了されます。



19

や たに けい こく
矢谷溪谷

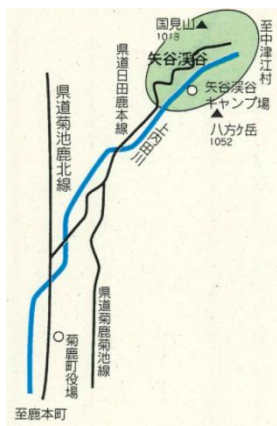
【所在】山鹿市菊鹿町矢谷

【広さ】30ha

【主な施設】キャンプ場、ロッジ、遊歩道、駐車場、

【周辺のみどころ】あんずの丘、相良観音、アイトピカズラ(見頃5月上旬)

【交通】山鹿市から、産交バス番所行き終点下車、徒歩30分。



森林のなかで、天然の滝すべりが楽しめる夏の避暑地

自然休養村に指定されている緑いっぱいの山鹿市菊鹿町。日田方面へ車で25分ほど走ると、典型的な日本の農村といった風景の番所地区が見えてきます。

その奥にある矢谷溪谷は、八方ヶ岳(1052m)と国見山(1018m)に囲まれた清らかな溪谷で、清流と森林の緑が楽しめる格好の場所です。夏の避暑地として知られ、キャンプ場やロッジなどの宿泊施設も充実。矢谷溪谷の人気は何とんでも、天然の滝すべり。水と一緒に岩をすべり落ちる遊びは、子どもだけでなく大人も楽しめます。秋の紅葉もすばらしく、多くの人が紅葉狩りに訪れます。



20

や ほ が たけ
**八方ヶ岳
の森**

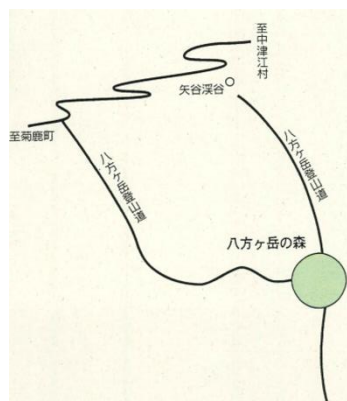
【所在地】山鹿市菊鹿町、菊池市

【広さ】52ha

【主な施設】駐車場(矢谷溪谷登山口)

【周辺のみどころ】矢谷溪谷、あんずの丘

【交通】登山口まで山鹿市から、産交バス番所行き終点下車。徒歩30分。熊本市街から車で約1時間半



シャクナゲの群生と紅葉のすばらしさで、県外からの登山者も

菊池市と山鹿市菊鹿町にまたがる名山で、山頂から360度の遠望がきき、九州の主な山がほとんど目に入ります。標高1052m。いろいろな方角から眺めても山容が同じことから、この名がつけました。八方ヶ岳は、矢筈岳の別名もあり、その名は古歌にも詠まれ、鬼や天狗の伝説も残っているほどです。

登山口の一つ、山の神地区は、シャクナゲの群生で知られ、初夏になると、美しいピンクの花が咲き匂います。八方ヶ岳は、初夏の新緑や秋の紅葉もすばらしく、県内はもちろん、県外からも多くの登山者が訪れます。頂上までは約2時間です。

